

名寄市立大学の窓から知への誘い

「専門職連携（IPW）を地域から学ぶ」
子ども家庭福祉における連携教育（IPE）」

名寄市立大学短期大学部 児童学科 教授 糸田 尚史

vol.19

表：フィールドワークで訪ねた地域資源

名寄地域	名寄市立総合病院小児科 名寄市保健センター 名寄市こども発達支援センター
近隣地域	美深育成園 美深子ども家庭支援センター かたつむりの会 士別市こども通園センター
旭川地域	旭川児童相談所 旭川育児院 れんじゃくホーム 旭川市愛育センター 旭川肢体不自由児総合療育センター 市立旭川病院精神神経科児童思春期外来 旭川圭泉会病院児童思春期外来 旭川厚生病院小児科 新生児集中治療室 こども富貴堂
道央地域	北海道庁 中央児童相談所 心身障害者総合相談所 特別支援教育センター 女性相談援助センター 北海道大学 北海道医療大学 キンダーリープ ちいさな絵本屋ひだまり ろばのこ
十勝地域	帯広児童相談所 慧誠会(帯広児童養育センター・帯広あおぞら・つばさ保育所・すいせい夜間保育所) 南十勝こども発達支援センター 足寄町児童デイサービスセンター 芽室町子育て支援課
釧路地域	釧路児童相談所 堀口クリニック小児科 白糠学園 プー横丁
北見地域	北見児童相談所 手づくり絵本美術館

市立大学・同大学短期大学部教務委員会が主催する特別講義が5月2日(金)に行われました。「一橋大学大学院から佐藤郁哉教授を招き、「質的研究入門」というテーマでお話をいただきました。

教室がいつぱいになるほどの学生と教職員が参加し、たくさん知的好奇心を刺激を受けることができました。カミカゼ・バイカー(暴走族)の参与観察研究でも知られる佐藤教授が執筆された「フィールドワーク(新躍社)」は、日本のこの研究分野におけるバイブルとなつていきます。

私は学生時代に青森県下北郡脇野沢村(現在はおつ市と合併)出身の「団塊の世代」の社会心理学的研究調査にかかりましたが、当時はまだ院生だった佐藤氏とそこで出会い、とても大きな影響を受けました。そのため、私のゼミナールではこの文献と地域での実際のフィールドワークによる調査研究が欠かせません。これまでも左表にあるような地域資源を訪ねてきましたし、これからも名寄市と同じ北・北海道中央圏域定住自立圏を中心に訪ね続ける予定です。

学生たちはこうしたフィールドワークを通して、地域の専門職から、講義にはないものを学んでいきます。なかでも子ども家庭福祉にかかわる関係機関の専門家の方々が自身の実体験をもとに異口同音に教授してくださるのは、地域の機関や関係者の協働、つまり「専門職連携(インタープロフェッショナル・ワーク)」の重要性です。そしてこの教えと学びの相互作用は実質的に、たいへん貴重な「専門職連携教育(インタープロフェッショナル・エデュケーション)」となつていきます。専門職連携(IPW)と専門職連携教育(IPE)は地域でも可能なのです。

図書館的話題・大学祭

7月19日、20日は名大祭の一般公開が行われます。図書館では次の行事を企画しますので、どうぞ気軽にお立ち寄りください。

《ビブリオバトル》

最近ブームとなりつつある書評ゲームです。参加者がお気に入りの本を5分間で紹介し、「どの本が読みたくなったか」を基準に投票を行い優勝者「チャンプ本」を決定します。皆さまもぜひ来場し、投票に参加してください。

- とき 7月19日(土) 10:00～
- ところ 市立大学新館2階・学生ラウンジ



《サイエンスカフェin名大祭》

栄養学科の千葉先生による「災害時の食事から日常の食事まで」と題した講演と意見交換などを行います。いざという時のために、日頃の備え考えてみませんか。

- とき 7月19日(土) 12:00～
- ところ 市立大学新館2階・学生ラウンジ
- *参加費無料・申し込み不要
- *飲み物+お菓子+非常食の試食付き!

- 本学図書館のホームページやフェイスブックでも掲載していますのでご覧ください。
- 問い合わせ：本館 ☎ 01654②4199 (内線3114)
分館 ☎ 01654②4199 (内線2200)